

# 7

## 同和問題について

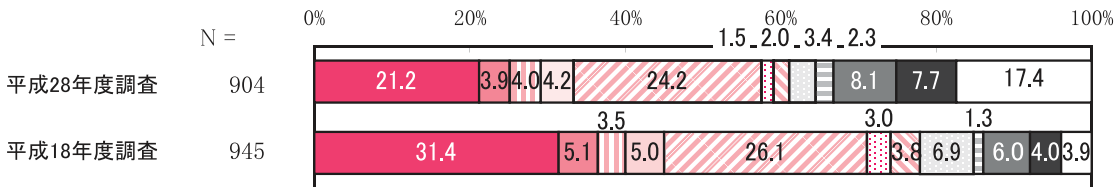
### (1) 初めて知ったきっかけについて

同和問題や同和地区があることを初めて知ったきっかけは、「学校の授業で教わった」(24.2%)が最も高く、次いで「父母や祖父母など家族から聞いた」(21.2%)となっているものの、平成18年度調査に比べ低くなっており、特に「父母や祖父母など家族から聞いた」は10.2%減少しています。

また、初めて同和問題のことを知ったときの印象は、「そのような差別があることを初めて知り、驚いた」(61.2%)と最も高く、平成18年度調査に比べて高くなっています。

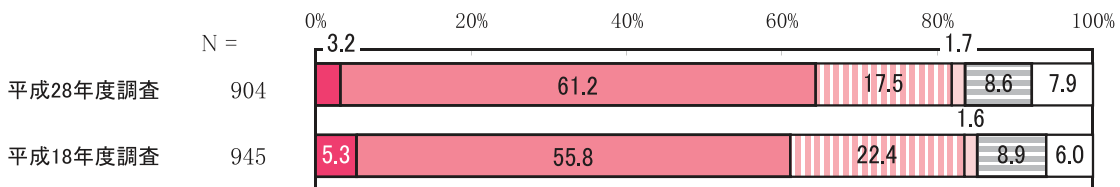
問 あなたが同和問題や同和地区があることを初めて知ったきっかけは何ですか。  
【あてはまるもの1つに○】

- 父母や祖父母など家族から聞いた
- 近所の人から聞いた
- 学校の友人から聞いた
- 職場の同僚から聞いた
- 学校の授業で教わった
- 講演会や研修会などで知った
- 府県や市町村の広報紙などで知った
- テレビ・新聞・本・映画などで知った
- その他
- 覚えていない
- 同和問題を知らない(今回初めて聞いた)
- 無回答



問 あなたが初めて同和問題のことを知ったとき、特にどのような印象を持ちましたか。  
【あてはまるもの1つに○】

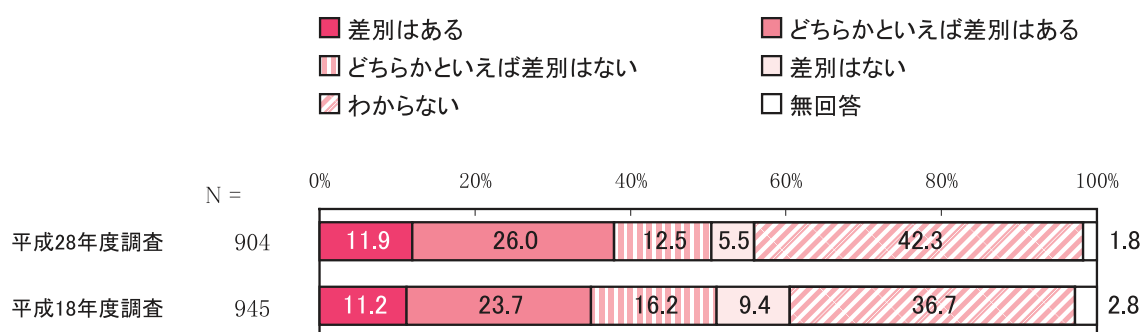
- 怒りを感じ、何とかしなければならなかった
- そのような差別があることを初めて知り、驚いた
- 差別を受けている人はかわいそうだった
- 差別されても当然だと思った
- その他
- 無回答



## (2) 就職の場面における同和問題について

就職の場面において、同和問題について、「差別はある」と「どちらかといえば差別はある」をあわせた“差別はある”の割合が37.9%、「わからない」の割合が42.3%、「どちらかといえば差別はない」と「差別はない」をあわせた“差別はない”の割合が18.0%となっています。平成18年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

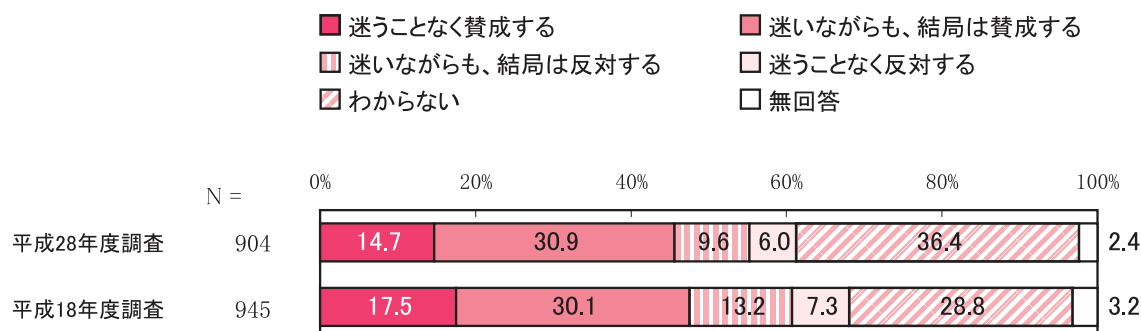
問 就職の場面において、あなたは、同和問題に関連する人権問題がどの程度あると思いますか。【あてはまるもの1つに○】



## (3) 結婚の場面における同和問題について

あなたの子供が結婚しようとしている相手が同和地区の人だった場合、親としてどのような態度をとるかについて、「迷うことなく賛成する」と「迷いながらも、結局は賛成する」をあわせた“賛成する”の割合が45.6%、「わからない」の割合が36.4%、「迷いながらも、結局は反対する」と「迷うことなく反対する」をあわせた“反対する”の割合が15.6%となっています。平成18年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

問 仮に、あなたの子供(子供がいない方は、いるものと仮定してください)が結婚しようとしている相手が同和地区の人だった場合、あなたは、親としてどのような態度をとりますか。【あてはまるもの1つに○】

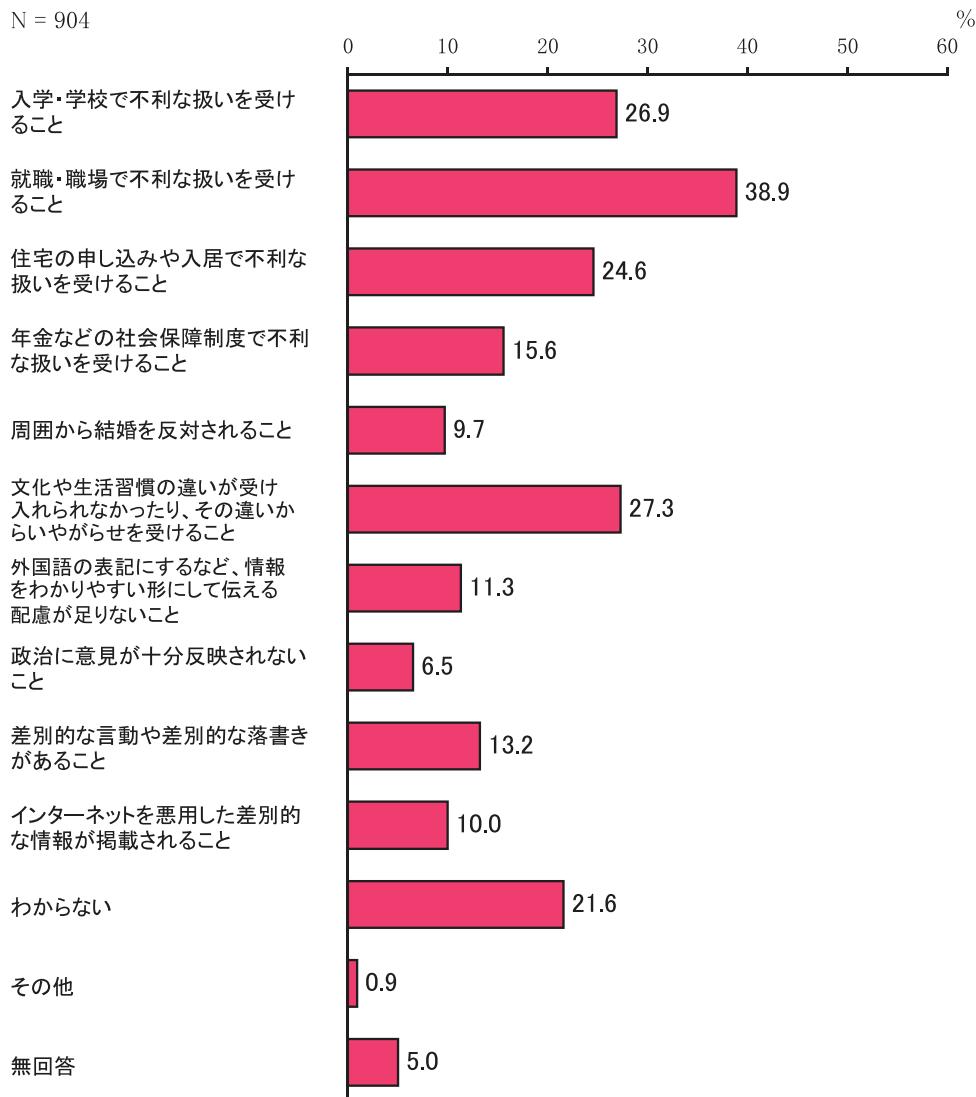


## 8

## 日本に居住している外国人の人権問題について

日本に居住している外国人について、人権上問題があることは「就職・職場で不利な扱いを受けること」(38.9%)が突出して最も高くなっており、年齢別にみても、70歳以上を除き、高くなっています。また、10歳代で「文化や生活習慣の違いが受け入れられなかったり、その違いからいやがらせを受けること」(47.2%)の割合が、30歳代で「入学・学校で不利な扱いを受けること」(38.5%)の割合が高くなっています。入学、就職などの人生の重要な場面において問題視していることがわかります。

問 日本に居住している外国人に関することで、人権上、あなたが特に問題があると思うのはどのようなことですか。【あてはまるもの3つまで〇】

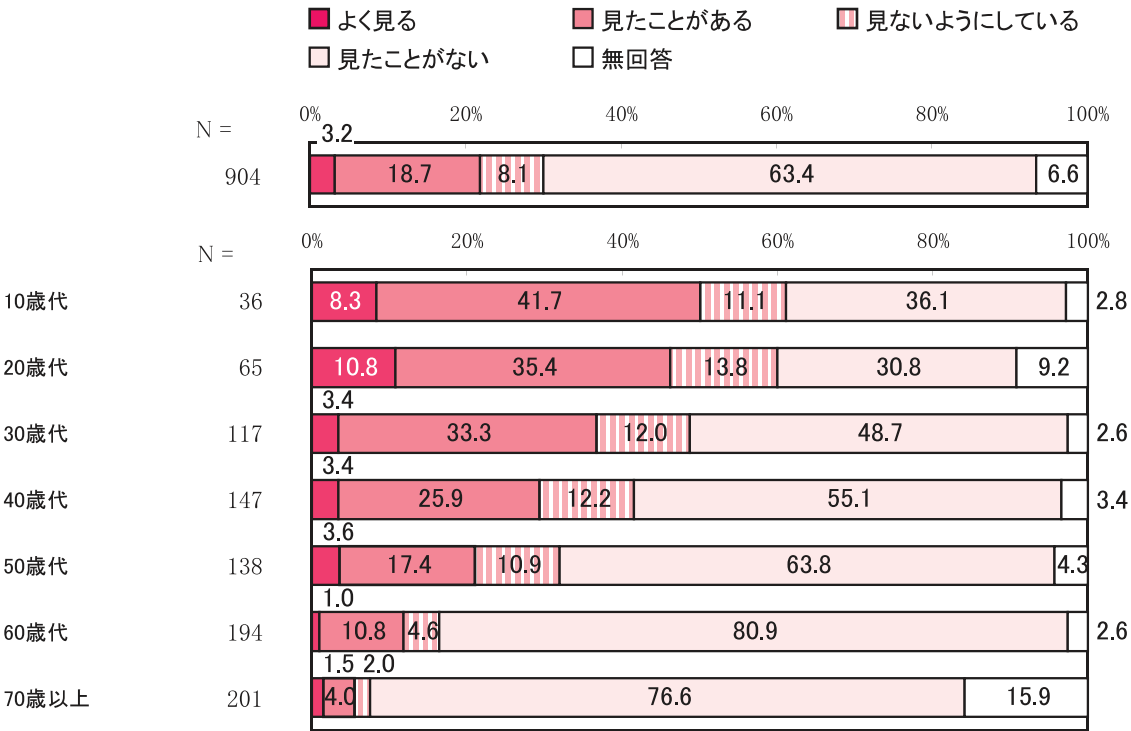


# 9

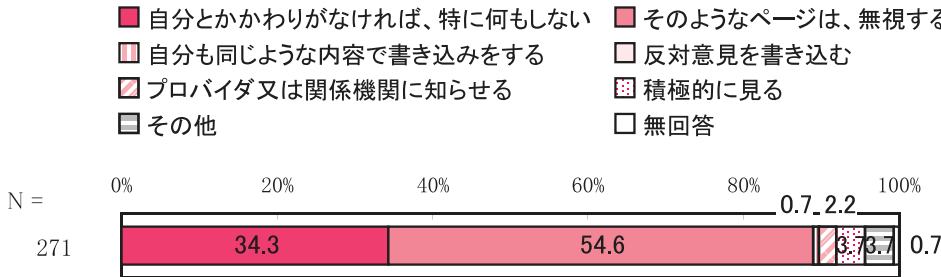
## インターネット上での人権問題について

インターネット上で、差別的な表現や他人を誹謗中傷するなど、人権侵害と思われるような書き込みやホームページを見たことがあるかについては、「見たことがある」との回答が21.9%となっており、その対応として、「そのようなページは無視する」(54.6%)や「自分とかわりがなければ、特になにもしない」(34.3%)が大半を占めているものの、5人に1人の割合でインターネット上での人権問題にかかわっている現状がわかります。

問 インターネット上で、差別的な表現や他人を誹謗中傷するなど、人権侵害と思われるような書き込みやホームページについて、お聞きします。あなたは、そのような内容のページを見たことがありますか。【あてはまるもの1つに○】

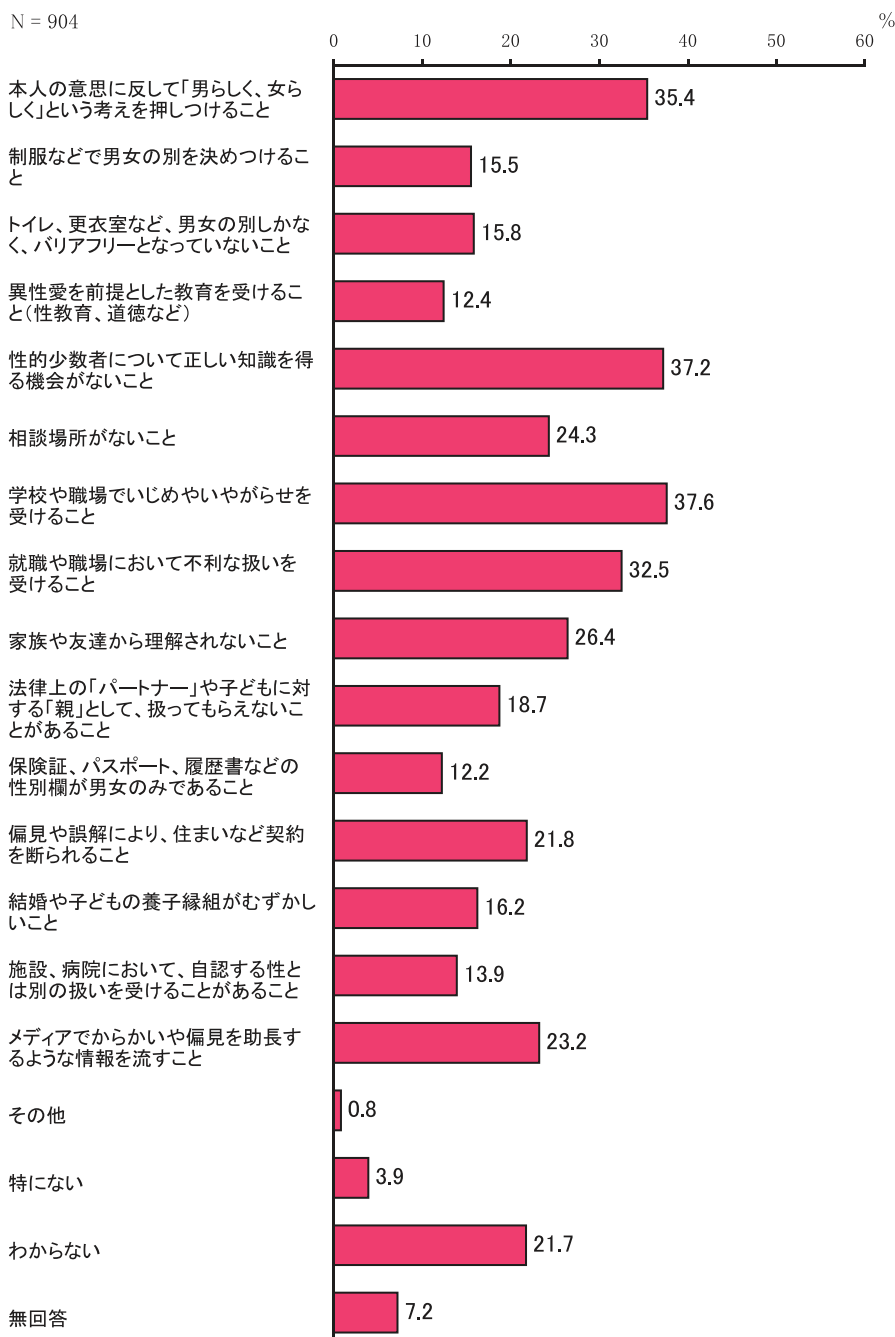


問 「よく見る」「見たことがある」「見ないようにしている」と回答した方におうかがいします。そのようなページを見たとき、どのようにされますか。【あてはまるもの1つに○】



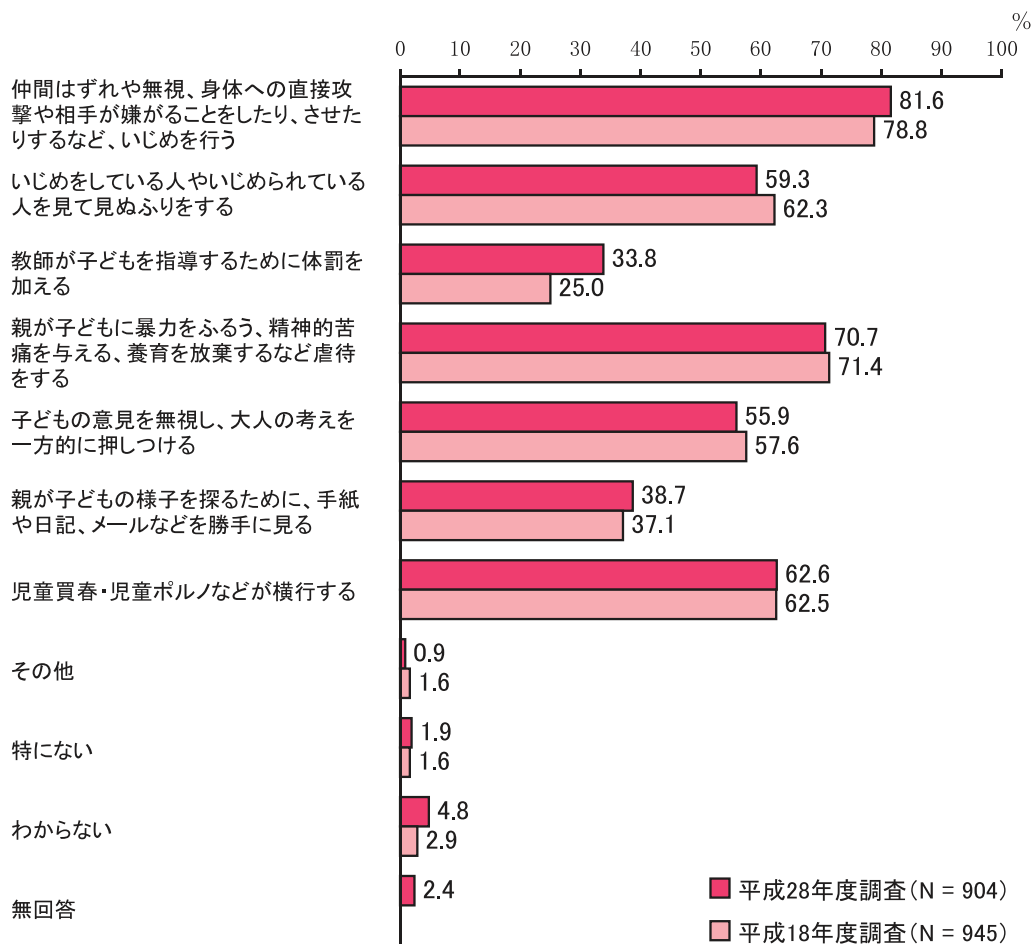
性的マイノリティ(少数者)の人々に関する人権のことで課題だと思ふことは「学校や職場でいじめやいやがらせを受けること」(37.6%)が最も高く、次いで「性的少数者について正しい知識を得る機会がないこと」(37.2%)、「本人の意思に反して「男らしく、女らしく」という考えを押しつけること」(35.4%)となっており、学校や職場で正しい理解がされていないことが問題となっています。

問 性的マイノリティ(少数者)の人々の人権についておたずねします。性的マイノリティ(少数者)の人々に関する人権のことで、あなたが特に課題だと思われるのはどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】



子どもに関する事柄で問題があると思うことは、「仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたり、させたりするなど、いじめを行う」(81.6%)が最も高くなっており、平成18年度調査と比べると大きな変化は見られないものの、「教師が子どもを指導するために体罰を与える」(33.8%)が8.8ポイント増加しています。

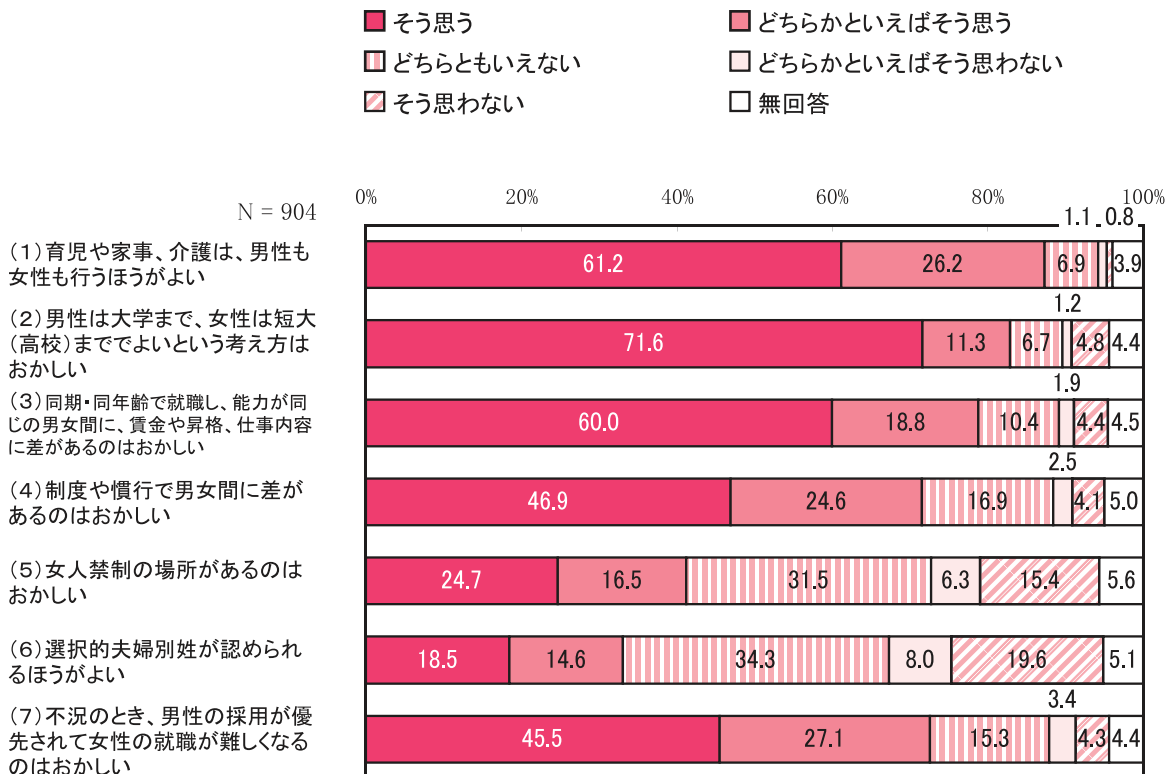
問 あなたは、子どもに関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】



男女共同参画に関する事柄について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が「(1) 育児や家事、介護は、男性も女性も行うほうがよい」で最も高く、次いで「(2) 男性は大学まで、女性は短大（高校）まででよいという考え方はおかしい」、「(3) 同期・同年齢で就職し、能力が同じの男女間に、賃金や昇格、仕事内容に差があるのはおかしい」となっています。また、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が「(6) 選択的夫婦別姓が認められるほうがよい」で最も高く、次いで「(5) 女人禁制の場所があるのはおかしい」、「(7) 不況のとき、男性の採用が優先されて女性の就職が難しくなるのはおかしい」となっています。

平成18年度調査と比較すると、(4) 制度や慣行で男女間に差があるのはおかしい、(7) 不況のとき、男性の採用が優先されて女性の就職が難しくなるのはおかしいで“そう思う”の割合が増加しています。

問 男女共同参画に関する事柄で、あなたは、次のような意見をどのように思いますか。  
【(1)～(7)それぞれについて、あてはまるもの1つに○】

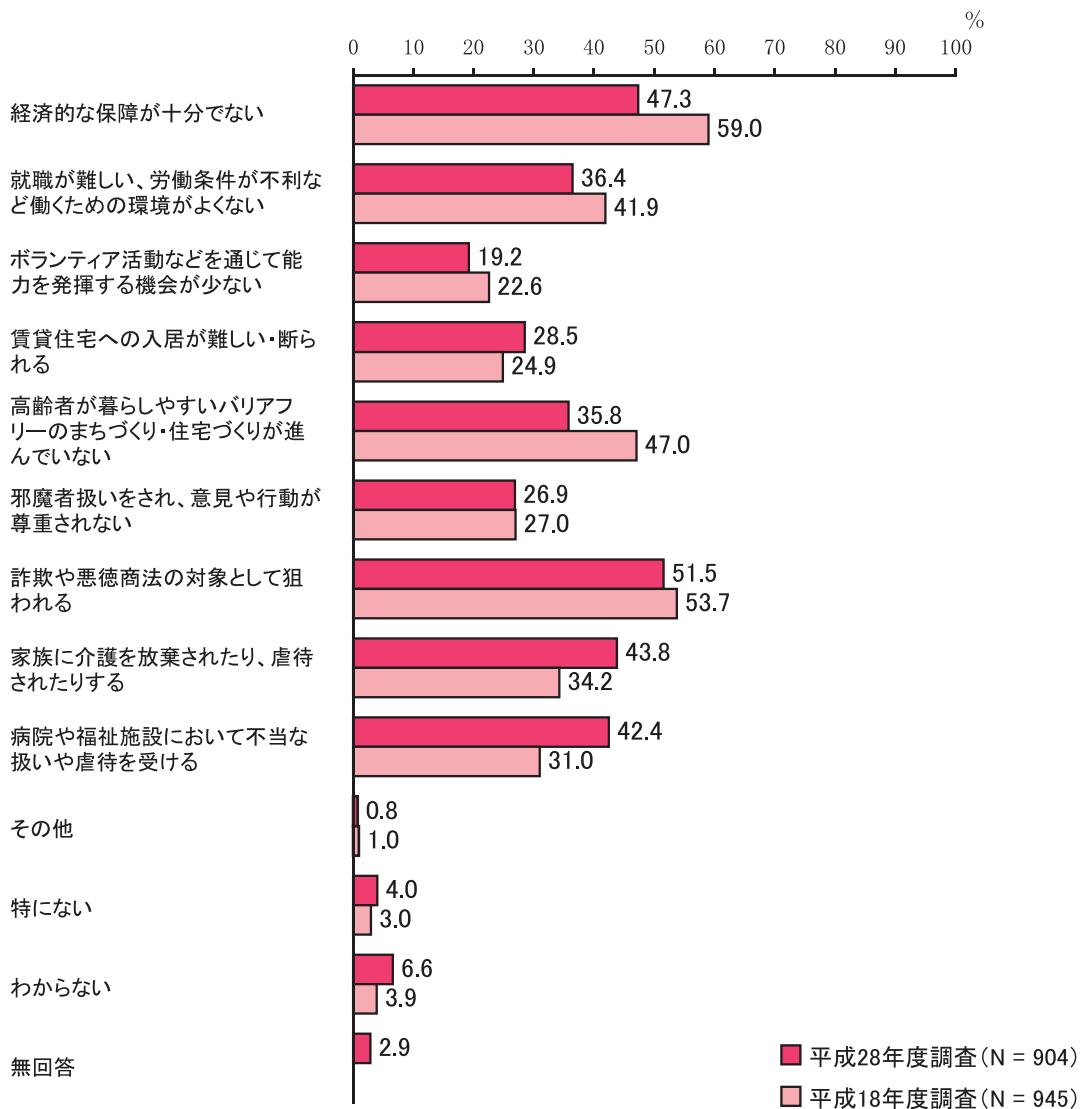


## 13

## 高齢者に関する人権問題について

高齢者に関する事柄で問題があると思うことは、「詐欺や悪徳商法の対象として狙われる」(51.5%)が最も高くなっています。「経済的な保証が十分でない」(47.3%)や「高齢者が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない」(35.8%)が平成18年度調査と比べると減少しているものの、一方で「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」(43.8%)や「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」(42.4%)が増加しています。高齢者を取り巻くハード及びソフト支援策は一定の推進がされているものの、高齢者介護に関する人権を問題と考える人が増える傾向にあります。

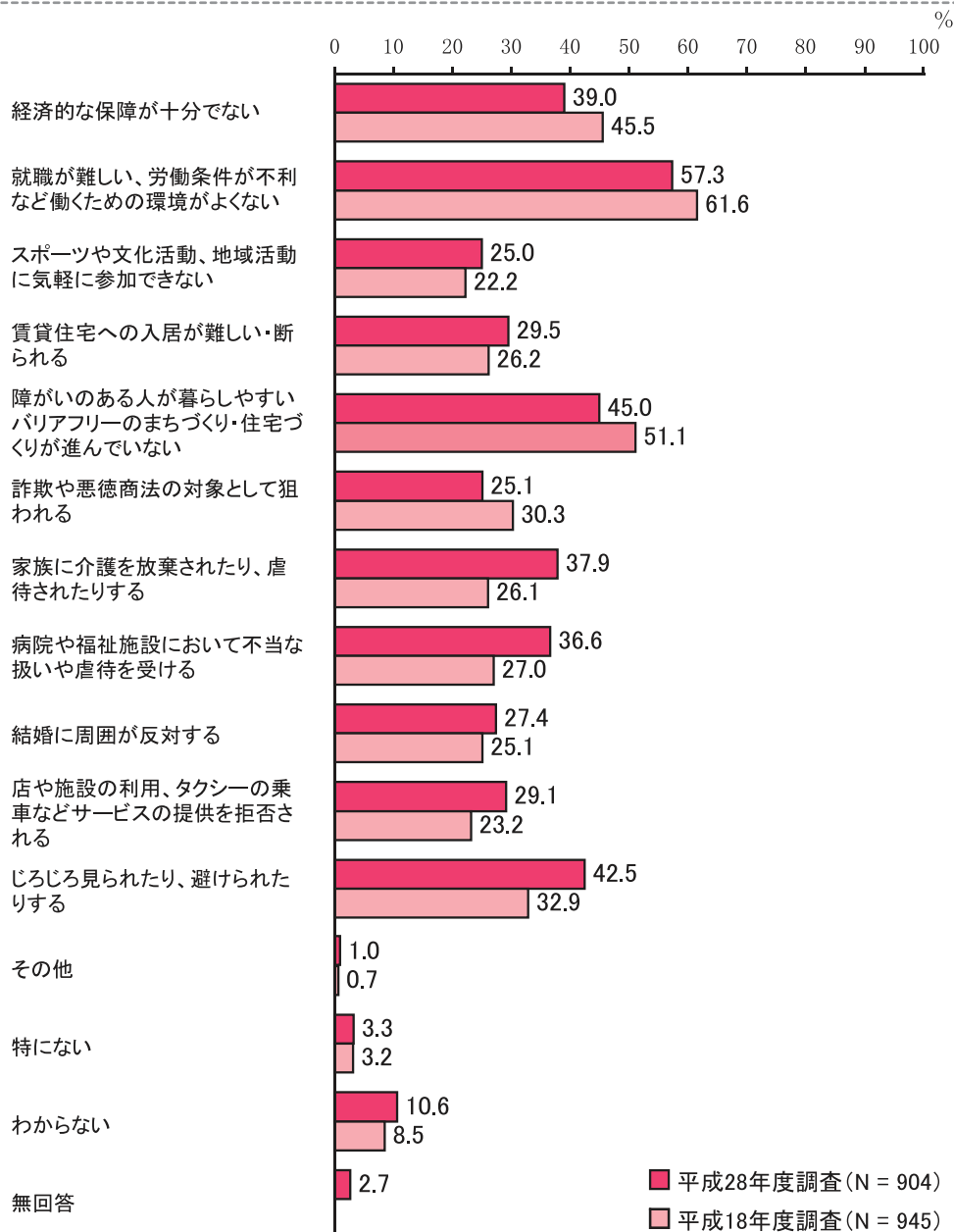
問 あなたは、高齢者に関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】





障がいのある人に関する事柄で問題があると思うことは、「就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境がよくない」(57.3%)と最も高くなっています。「経済的な保証が十分でない」(39.0%)が平成18年度調査と比べると減少しているものの、一方で「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」(37.9%)や「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」(36.6%)が増加しています。障がいのある人の就労への対策が大きな課題であることがわかります。

問 あなたは、障がいのある人に関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。【あてはまるものすべてに○】



# 15

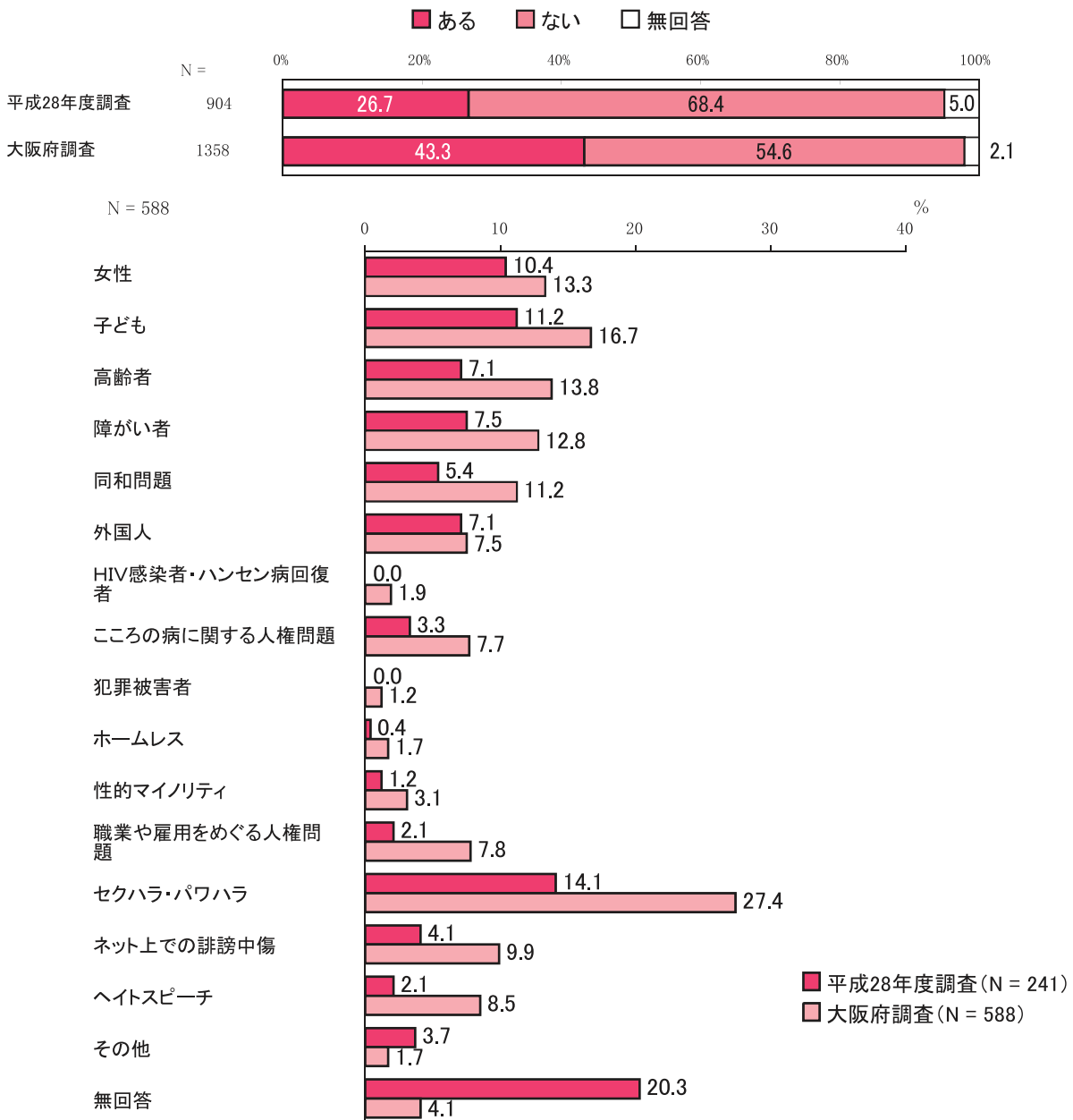
## 身の周りの人権侵害について

最近5年間に人権上問題と思われる言動を身近で見聞きしたことがあるかについて「ある」の割合が26.7%、「ない」の割合が68.4%となっており、大阪府調査と比べると、「ある」の割合が16.6ポイント低くなっています。

それはどのような人権問題であったかについては、「セクハラ・パワハラ」(14.1%)が最も高く、次いで「子ども」(11.2%)、「女性」(10.4%)となっています。

これらから、人権上の問題に遭遇している人は4人に1人となっており、特に「女性」や「子ども」に関する人権問題の割合が高くなっています。

問 あなたは、最近5年間に人権上問題と思われる言動を身近で見聞きしたことがありますか。複数ある場合は、一番印象に残っているものについてお答えください。【どちらかに○】



※和泉市調査は単数回答、大阪府調査は複数回答と回答数が異なります。

和泉市人権問題に関する市民アンケート調査  
調査結果報告書（概要版）  
平成 29 年 3 月

発行／和泉市 総務部 人権・男女参画室  
〒594-8501  
大阪府和泉市府中町二丁目 7 番 5 号  
TEL 番号：0725-99-8115  
FAX 番号：0725-45-3128

